



## 今月の記事

車両受贈

運動会

逝去者記念礼拝

ハラスメント研修

今月の愛の園



## ボランティアサークルより車両受贈

愛の園は、年間を通して多くのボランティアの方々に支えられ、入居者の皆さんの生活を支援していただいております。

愛の園ボランティアサークルは、毎月第4日曜日に上富田町岩田にある旧愛の園施設内においてバザーを開催しています。これまでも収益金のご寄付をいただいていたが、この度、愛の園に普通乗用車を寄贈いただきました。ありがとうございます。この乗用車は、ボランティアの方々の送迎をはじめ、職員の外部での研修参加、近隣事業所や入居者宅への訪問などに大切に使用させていただきます。

10月11日にバザー会場である旧愛の園施設前において、ボランティアサークルの皆さん、山根貞夫司祭、宮崎靖子理事長、他職員が出席し、車両の贈呈式と祝福式が行われました。ボランティア代表の新谷慶さんから理事長に車両の鍵が手渡さ

れ、山根司祭により祝福と運行の安全を願うお祈りの後、記念撮影をいたしました。

この様子は紀伊民報にも紹介され、記事の中でボランティアサークル代表の宮本操さんは、「バザーを開催することで物品の再利用、地域の交流の場にもなっているため、今後も継続したい」と語っておられました。

愛の園でも、発足以来15年間継続して活動されている歴史ある愛の園ボランティアサークルの皆さんと、今後も協働の関係を続けて行きたいと願っています。

素敵な乗用車を寄贈いただき、ありがとうございました。改めて感謝を申し上げます。



実行委員/ケアワーカー  
吉本さやか

## 笑顔と元気が弾けた運動会

委員として多くの皆さんに参加して頂けるよう、分かり易く興味を持てる楽しいゲームを企画し準備しました。事前に各ユニットでポスターを作ったり、団結力と一体感を感じていただけるよう各階ごとにハチマキの色を変えてチームとしての繋がりを感じていただけるよう配慮しました。

今年の種目は玉送り、玉ころがし、的当て、パンくい競争でした。入居者の方々が主体で職員が寄り添うという形で進めていきました。玉ころがしはなかなか的に当たらず苦戦している中、普段はおしとやかな方が「できるかなあ〜」と戸惑った様子でおられたの

に一回で当て、とても嬉しそうにされていました。いつもとは違う非日常の場面で見せてくれた入居者の皆さんのいきいきした表情や活動的な様子に驚かされました。成績発表では順位に関係なく互いに喜び合い、一人一人に柔らかな笑みが見られ、日々忙しくしている私達もうれしい気持ちになりました。

職員は日常のケアに追われがちですが、行事は入居者の方々の生活に潤いを与えてくれます。人生の中での「晴れの日、特別な日」の演出を全力でサポートし、ここで生活ができて良かったと思っただけの場面を共有することで、介護者としての充実感も高まります。また、ご家族の皆さんにも関わっていただければ、楽しさもさらに増すことと思います。多くの皆さんのお越しをお待ちしています。

今回何よりも感じたことは、こうした行事の楽しい雰囲気を作ってくださいるのは、入居者の皆さんの普段とは違ったお顔の輝きだということです。これからも共感して笑みのある「生活の場」を大事にしていきたいと思ひます。



屋間の火災を想定した避難訓練を行い、日頃の積み重ねの大切さを再確認しました。10/26





## 逝去者を覚えて記念礼拝



逝去者記念礼拝(右)  
礼拝後の茶話会(上)

聖公会やカトリック教会などでは11月1日を諸聖徒日(しよせいとび)という祝日とし、全ての聖人や殉教者を記念する日としています。今日では天に召された信徒の全てを覚えてお祈りする日ともなっています。

愛の園でも亡くなられた入居者や関係者を記念して毎年11月3日に礼拝が行われており、今年も愛の園礼拝堂において入居者、ご家族、職員など約60名が出席し、山根貞夫チャプレンの司式、やまびこ会ボランティアの新谷慶さんの奏楽で礼拝が守られました。

記念礼拝のご案内は愛の園で過去3年間に亡くなられた方々のご家族にお送りしており、礼拝の中で逝去された方々のお名前を読み上げて特別なお祈りを捧げました。

礼拝後に1階ホールで茶話会が開かれました。教師であった故 H 先生のご家族と教子である A さんが偶然隣り合わせて座られ、出会いを喜びながら思い出を語り合うなど、豊かなひと時を過ごすことができました。

礼拝堂の横にある納骨堂には希望された方々のご遺骨が安置されており、こちらにもご家族が訪ねられて、故人の魂の平安のためにお祈りが捧げられました。



## ハラスメント防止に関する研修 太田剛史



ロールプレイも交え分かりやすく講義していただきました。

近年ハラスメント問題が様々に取り上げられていますが、私たちの日常にも潜んでいると考え、事業所内での人権侵害を防ぎ、業務が円滑に行われるよう、『一人ひとりが尊重される愛の園になるために』と題した研修を企画しました。講義を日本聖公会管区女性デスクの木川田道子さんをお願いし、10月5日・12日に開催して104名の職員が受講しました。

講義の中で、ハラスメントの定義は「属性や人格に関する望まない言動の繰り返しによって不利益を与え尊厳を損なうこと」であり、成立する要因として、力の差(男女差・年齢差・地位の差等)があること、心や体が傷つけられること、ハラスメントかどうかは相手の判断基準によることなどが説明されました。

これらは受講したほとんどの職員が学びの内容としてレポートに取り上げて確認しており、今後の働きの中で考え直されていくと感じました。レポートでは他にも、「自分の力を自覚する」、「自分のものさしで相手を評価しない」、「相手をよく知り傾聴の姿勢で接する」、「コミュニケーション能力を高める」、「互いの人生観や価値観を尊重し合い、相手の立場に立つことに努める」などが個々の課題としてあげられていました。

注意してみると、テレビ番組や日常会話の中でもハラスメントは見受けられます。一人ひとりが尊重されるより良い文化をつくるために、私たちもハラスメントを身近な問題として捉え、解決していかなければならないと考えます。

「キリストの愛を以って  
互いに仕える」

社会福祉法人神愛会  
特別養護老人ホーム愛の園

〒649-2103  
和歌山県西牟婁郡上富田町  
生馬 316-56

TEL (0739)47-1234

FAX (0739)47-4329

ainosono@shinai.or.jp

ホームページもご覧ください。  
Web サイト アドレス:  
<http://shinai.or.jp>

## 11～12月の愛の園

- 13(日) 日曜礼拝
- 15(火) ひまわり会 手芸サークル
- 17(木) やまびこ会
- 18(金) 社協ボランティア来園
- 20(日) 日曜礼拝
- 21(月) 田辺工業高生徒来園  
まりもと愉快的仲間たち来園
- 22(火) マリア会
- 24(木) やまびこ会
- 27(日) 日曜礼拝

- 1(木) やまびこ会
- 4(日) 日曜礼拝
- 6(火) マリア会

## 編集者から

皆さんは「11月11日」が何の日かご存知でしょうか？この日は厚生労働省が定める「介護の日」です。介護の日とは「介護について認識を深め、介護従事者、介護サービス利用者及び家族を支援するとともに、それを取り巻く地域社会における支え合いや交流を促進することを目的とする」とあります。

和歌山県でも、11月12日にピック愛で福祉フォーラムが開催され、また他府県でも啓発のための様々な催しが開かれています。

介護の日を通じ、様々な人々が福祉に関心を持ち学ぶことで、高齢者や障がい者の方々にとってより良い社会が作られることが期待されています。(C)